

3 図書館協議会による図書館運営全体に対する評価(委員長とりまとめ)

職員数の急激な減少への対応が喫緊の課題である。将来を見据えた人材の確保が是非とも必要であり、職員数の増加が強く望まれる。一方で、現在の職員体制においても、最大限の創意工夫により魅力ある図書館とする努力を期待する。各事業を細かく検討したうえで慎重に「優先度」を設定し、優先度の高い業務に集中して取り組むことも検討されたい。

平成 27 年度の創立 100 周年記念事業では、県民に対して図書館の理解が深まるような催しとなること、また、県内図書館・公民館との関係構築や、次世代職員の育成や経験の蓄積など、今後の事業展開との連続性を念頭に置いた取り組みを期待したい。盛会を祈念する。併せて、100 周年を機に、県立図書館としての専門的・先導的な役割や、人口減少や予算の削減などの今後の動向をふまえたメリハリのある運営を、改めて期待するという意見が出された。

その他、公開書庫の利用方法を「申込制」とすることについて、賛同する意見が出された。利用状況に応じて、今後ともより適切な方法を考えていくことが望ましいと考える。

以上、協議会としては、次年度の図書館の取り組みを大いに期待している。